

令和7年 第8回 武豊町教育委員会 会議録

開催日 令和7年9月11日（木）
場 所 武豊町役場 全員協議会室
出席委員の氏名

教 育 長	榎原 寛二	委 員	森田 教夫
教育長職務代理者	浅野俊太郎	委 員	堤田 綾子
委 員	鋤柄佐千子		

出席職員の氏名

教 育 部 長	長澤 成江	学 校 教 育 課 長	森田 光一
生涯学習スポーツ課長兼中央公民館長	横田 覚	町民会館事務長	森田 明男
歴史民俗資料館長	奥野 真光	生涯学習スポーツ課課長補佐	神谷 芳美
給食センター所長	青木 隆	学校教育課課長補佐	池田 雅史
学校教育指導主事	小田島 健	学校教育指導主事	石田 貴之

：欠席者

1. 開会 午後1時30分

2. 開会宣言並びに令和7年第7回定例会 会議録の承認

（教育長）出席委員4名を確認し、会議の成立及び第8回定例会の開会を宣言します。

（教育部長） 次に前回の会議録のご承認をお願いします。会議録につきましては事前にお渡ししておりますので、すでにご確認いただいていると思います。この会議録について、ご意見、ご質問等あればお願ひします。

《意見なし》

（教育部長） 特にご意見等もないようですので、前回の会議録は承認とします。会議録への署名は、この会議が終わりましたら、担当がお願ひに行きますので、よろしくお願ひします。

（教育部長） それでは教育長報告をお願いします。

3. 教育長報告

- 7月10日（木） ・町定例教育委員会
- 7月16日（水） ・町図書館協議会
- 7月17日（木） ・校長教委管理職会議
- 7月20日（日） ・壱町田湿地一般公開
- 7月24日（木） ・表敬訪問 JICA海外協力隊 小学校の授業支援
・表敬訪問 空手道
第33回全国中学生空手道選手権大会出場予定
男子団体形 武豊中5名

女子団体形 武豊中4名
第25回全日本少年少女空手道選手権大会出場予定
女子個人形 武豊小5年
日本スポーツマスターズ2025 空手道競技出場予定
男子形2部（50～59歳）
女子形2部（45～54歳）2名
・町教委点検評価委員会
7月26日（土）・湿地サミット
7月28日（月）・学校運営研究会
7月31日（木）・教育委員会・校長会コミュニティ・スクール視察
(北名古屋市)
・県町村教育長協議会研修会
8月 1日（金）・知教協幹事会
8月 4日（月）・東海大会・全国大会激励会

【武豊中】

陸上 男子200m（東海大会）（全国大会）
男子棒高跳び（東海大会）（全国大会）
女子走り高跳び（東海大会）
女子200m（東海大会）
女子4×100mR（東海大会） 6名
女子四種競技（全国大会）

【富貴中】

卓球 女子個人戦（全国大会）
8月18日（月）・武豊小学校・大光初等学校（韓国）教職員交流会
8月19日（火）・武豊町教育懇談会（学校教育予算要望）
8月23日（土）・ふるさとまつり（24日まで）
9月 5日（金）・富貴中学校 学校訪問（森田委員、堤田委員）
9月 8日（月）・民生児童委員等との情報交換会（富貴小）
9月 9日（火）・学校安全優良校実地審査（富貴中）
・表敬訪問 硬式野球
エイジェックカップ 優勝
グランドチャンピオンシリーズ 優勝 武豊中3年
第16回 林和男旗杯野球大会 ベスト8 富貴中3年
9月11日（木）・定例教育委員会

4. 議 事

（教育部長） ここで本来であれば議事に入るところですが、本日議事はありません。

5. 報告事項

（教育部長） 続いて、報告事項に移ります。

(1) 9月議会定例会 一般質問要旨について

(教育部長) 当日配付資料の説明

・部活動の地域連携・地域移行と支援について

令和7年度より、地域クラブのコーディネータを配置し、学校や各団体との調整、広報活動などを行っている。今後は、学校施設開放の拡大を検討する。

・学校給食について

給食に対する子どもたちの満足度は、アンケート調査で把握をし、献立を立てるまでの参考にしている。物価高騰分については、公費負担することで、質、量、栄養価を維持した給食を提供している。給食費の無償化については、国の方針が示された段階で、給食についてのニーズを把握していくことを検討する。

・子どもの居場所づくり、小1の壁問題について

先進的な取り組みを参考にし、実施の必要性について調査研究を進める。

・教育と地域課題の関係について

学校運営協議会において各学校の運営課題を整理し、地域人材の発掘や地域資源の活用により取り組みを検討し、学校運営の改善、児童生徒の健全育成に取り組む。

・スポーツ・文化活動振興の計画について

本町における未来のスポーツの望ましいあり方を描き、実現のための目標及び方針を定めることで総合的な推進を図る。

・町民が楽しみにしている行事について

・収納率の向上について

(2) R7武豊町教育委員会の点検・評価に対する意見および総評(R6年度分)について

(指導主事) 資料1の説明

委員長総評にある通り、武豊町の教育行政や学校教育活動をよりよくするための提言がなされた。今までとは違う視点を取り入れることで、武豊町の教育行政や学校教育が充実したものになるように取り組みを進める。

(3) 湿地サミット開催結果について

(歴史民俗資料館長) 資料2の説明

武豊町での開催は14年ぶり3回目である。午前は、湿地関係者が壱町田湿地の見学をした。午後は、町民会館で、壱町田湿地に関するパネルの展示、ミュージカルの上演、愛知教育大学渡邊教授による基調講演が行われた。

(4) 学校の近況について

(指導主事) 配付資料の説明

・林間学校など、各校の近況報告について

・不登校児童生徒の状況について

・今後の学校行事について

(5) 当面する行事予定について

(指導主事) 資料3について説明(9月～12月)

6. その他

(1) 町民会館より

- ・各種事業について 配付資料

(教育部長) それでは、教育委員さんからお気づきの点があればお願ひします。

(教育委員)

- ・令和8年4月から自転車に関する法律の改正があります。16才未満は罰則が適用されないケースもありますが、だからといって、例えば小中学生は2人乗りをしてもよいというわけではありません。最近、高校生がスマホを使いながら自転車を運転している姿をよく見かけます。罰則が適用される年齢に達する中学生までに、法律で禁止されていることを教える必要性を感じています。
- ・東京都八王子市の不登校支援の取り組みが、新聞で報道されていました。不登校の子と、学校の関係を切り離さないようにするために、不登校の子たちに、給食センターで給食を食べてもらう取り組みです。24年度は147人が参加したそうです。参加した男児が「一人ではないことに安心をした」とコメントをしています。学校と繋がっている場所があるということが、子どもたちにとっても、保護者にとっても安心できることなのだと思います。
- ・豊明市でスマホの使用を1日2時間以内とするよう促す条例が議会に提出されるそうです。ある調査によると、1日のスマホ平均使用時間は、0歳から9歳の子たちが2時間9分、10歳から17歳の子たちが5時間2分で、10歳から17歳で6時間以上使っている子たちが3割以上いるそうです。オーストラリアのSNS禁止もそうですが、どこまで法律で決めていくのかは賛否両論ありますが、自分がどれくらいスマホを使っているのか、子ども自身に認識させる必要はあると思います。

(教育委員)

- ・夏の楽しみの1つに、甲子園で開催された全国高校野球があります。その中で、岐阜県立岐阜商業の横山選手が印象に残っています。生まれつき左手の指がないハンデを乗り越えて、攻守で躍動していた姿がとても印象的でした。練習に励み、レギュラーを獲得するまでに、相当の努力があったのではないかと想像できます。一生懸命に練習をすれば、叶えたい夢を実現できるというメッセージを送っているようでした。武豊町では今後、部活動の地域展開が進み、指導者の専門的な知識や経験により、子どもたちの技術の向上も期待されますが、子どもたちにはスポーツや文化の楽しさを味わってほしいと思っています。そして、スポーツや文化の分野において、横山選手のように見ている人に感動を与えて活躍する子どもが増えることを期待しております。

(教育委員)

- ・今まで新幹線の切符を購入するのにエクスプレス予約を使っていました。先日、システム

の変更があり、今までと同じようにスムーズに予約を取ることができませんでした。そこで、駅の窓口に行くことにしました。駅の職員の方には、とても丁寧に対応をしていただき、すぐに予約を取ることができました。システム化が進み、上手に活用できる人にとっては、とても便利になる反面、使いこなすことができない人にとっては、不便なものになってしまふのではないかと感じました。デジタル化、システム化が進む中で、子どもたちの中にも、ついていくことに困難さを抱えている子が一定数いるのではないかでしょうか。その子どもたちに対して、教師や友だち、保護者が手を差し伸べることで、困難さが解消できるとよいと思います。。

(教育委員)

- ・先日、富貴中学校の学校訪問に行きました。9月第1週の天気がよくない日でしたが、残暑厳しい中での学校訪問でした。柔剣道場で行われていた柔道の授業では、生徒が柔道着を着ていました。柔剣道場にエアコンが設置していなければ、この時期に柔道の授業はできなかつたのではないかと思います。学校教育の環境整備の大切さを改めて感じました。また、タブレット端末における授業でのロイロノートの活用、校内教育支援センターの人的配置など、定例教育委員会で報告を受けていることが、学校現場で丁寧に行われていることを実感することができました。今後も、武豊町としてできることを考えていかなければならぬと思っております。
- ・2学期は、どの学校も行事が多いと思います。子どもたちにとって、行事が学校生活の潤いになり、自分自身の成長を感じられるものになることを願っています。

(教育部長) ありがとうございます。以上をもちまして定例教育委員会を閉じます。

(一同) ありがとうございました。

令和 年 月 日

署名

作成者 小田島 健